

若狭町 議会だより



1月4日 三方消防団出初式



1月10日 上中消防団出初式

もくじ

議長 新年挨拶	P2
12月 定例会	P2 ~ P3
常任委員会報告	P4 ~ P5
賛否一覧・議決議案	P6
視察研修報告	P7
一般質問	P8 ~ P9
議会の動き	P10

一般会計 主な事業

衆議院議員総選挙費(専決処分)で1,058万円

事業名	予算額	事業名	予算額
一般会計全体の人件費の補正 ※うち退職手当組合負担金(特別)	5,277万円	イメージアップPR事業 (10周年記念事業…勢関の講演)	500万円
訓練等給付費事業 (Cネット福井・若狭つくし会・青松の郷)	3,646万円	防災諸費 (水防車両の更新)	314万円
県単小規模土地改良事業 (嵯峨水門管理用階段布設)	500万円	道の駅「三方五湖」 オープン記念イベント事業	300万円
三方PASスマートIC整備事業	3,378万円	有害鳥獣対策事業 (報償費および焼却経費等)	1,623万円
園芸導入事業 (岩屋梨園災害)	328万円	低所得者対策事業 (介護保険特別会計繰出)	664万円

特別会計・企業会計 主な事業

会計区分	補正額	合計額	会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	3,656万円	19億3,421万円	農業集落排水 処理事業	676万円	4億1,038万円
介護保険	3,463万円	18億9,546万円	公共下水道	322万円	5億5,536万円
漁業集落排水事業	△54万円	3,721万円	国民健康保険上中病院 (資本的支出) エレベータ設置工事等	4,835万円	3億1,711万円
町営住宅	101万円	1億1,770万円			

主な収入

◇町税	4,500万円	◇分担金・負担金	2,096万円
◇国庫支出金	2,676万円	◇町債	570万円
◇県支出金	7,210万円		



新年明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆様には輝かしい平成27年
の新春をお迎えになられたこと心よ
りお慶び申し上げます。

皆様には、日頃より議会運営に
対しまして格別のご理解とご協力を
賜っておりますことに心から厚くお
礼申し上げます。

昨年は若狭町制施行10周年の節目
にあたり、多くの町民の皆様とともに、
若狭町の礎を築かれた先人の方々に
深く感謝を申し上げ、愛する我が町を
未来の町民の皆様に誇りを持って引
き継ぐことのできる様、一層の努力を
お誓いしたところであり、新春を迎え
決意を新たにしているところであり
ます。

さて、昨年を顧みますと多くの出来
事がありました。7月には小川と
神子の間をつなぐ「神子トンネル」が
開通いたしました。

それにより、生活道路としてはもと
より、観光道路としても大いに利用し
ていただいております。

そして7月20日、私共が待ち望んだ
舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイ
ウェイ)が全線開通いたしました。

この完成により北近畿環状ネット
ワークが出来上がり、北陸自動車道、
中国自動車道ともつながり、生活・観
光は言うに及ばず、交流人口の益々の
拡大が期待されます。

また10月には平成30年開催の福井
国体におけるグラウンドゴルフ、ゲー
トボールの会場になります「若狭さと
うみパーク」が完成しオープンを迎え
ました。

緑の芝生を一面に敷きつめた広場
でのプレーを利用者の方々にお楽し
みいただいております。

さらに10月16日には県営河内川ダム
の打設式が行われ、平成31年度完成に
向けて本体工事の着工に入りました。

今後、私たちは議会はさらなる発展を
目指し「住民と共に考え、共に歩み」
加えて独自の発想を基に、若狭町が輝
きと優しさに出会えるまちとなるよ
う、議会といたしまして努力していま
いる所存であります。

本年も若狭町議会に対しまして、ご
理解とご指導、ご支援を賜りますよう
お願い申し上げますとともに、若狭町
の益々のご発展と町民の皆様方のご
健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

のご挨拶いたします。

ご挨拶

若狭町議会議長 福谷 洋



12月定例会

12月5日(金)～22日(月)

一般会計予算を
1億8,113万円
増額補正

本年度総額 110億1,850万円

予算決算常任委員会

◆去る12月5日の平成26年第6回議会定例会にて、当委員会に付託されました議案は、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算8件、企業会計補正予算1件の計10件でした。これら10議案の補正理由は、人事院勧告を受けての町の条例の一部改正による職員の人件費調整が主なもので、そのほか障害者訓練等にかかる給付事業、水月湖の嵯峨水門管理用階段の敷設、三方パーキングエリアスマートインターチェンジ整備事業、来年3月完成予定の道の駅「三方五湖」オープン記念イベント事業などに係るもので、12月15日の予算決算常任委員会で慎重に審査した結果、出席委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定しました。

○一般会計補正予算

主な質疑事項

問 嵯峨水門は、水月湖があふれても開けることができないという問題が起きており、そのようなところに階段をつけても無駄ではないのか。

答 嵯峨水門の開閉は県や両町の関係団体などの6者協議で決めているが、人的被害があった場合は開放するという規定があるので、この階段は必要である。

問 農業振興費の果物産地育成事業で、ブドウをハウス栽培するとあるが、どこ

所か。

答 農薬舎を卒業した方が、大鳥羽で6棟のハウスで白ネギ栽培に取り組んでいるが、そのうちの1棟をブドウ栽培するために施設改良するものである。

問 商工総務費の588万円の減額は、人員の異動によるものと思うが、どういう異動があったのか。

答 特産振興費で、平成25年度3名体制を26年度で2名体制にしたことによる人件費の減である。

問 障害者福祉費の訓練等給付事業の3,646万円はこの施設に給付されるのか。

答 障害者訓練の就労A、就労Bなどの区分があり、その関係の施設で、具体的にはCネット関連、小浜の若狭つくし会、敦賀の青松の郷に掛かる訓練給付の経費である。

問 がんばる地域交付金活用事業で、若狭さとうみパークのモニメント建設中止で320万円減額したが、今後どのように考えているのか。

答 国体準備委員会で協議する方向で再度検討し、議会に再上程したいと考えている。モニメントは何かの形で必要。提案として、三方、上中の両中学校に依頼するなど、手作りのものも考えていったらよいのではと思う。

要 公民館の施設で、消防署からの指摘により修繕するとあるが、公民館自体に管理責任を持たせ、指摘される前に修繕する

ように。

問 公民館は、多数の方が出入りする施設であり、耐震化は重要であるが、耐震診断はしているのか。

答 今後の振興計画の中で、順次対応していきたい。

○特別会計補正予算

主な質疑事項

問 国民健康保険の基金残高が3,200万円となっているが、今後のことを考えると、平成28年度から国民健康保険税をいくらか値上げしないといけないのでは。

答 26年度については、一般会計から補填しているが、今後このような対応でいくのか、税を改訂して少しでも穴埋め分を減らすのか、いろいろ協議が必要だが、国保に関しては平成29年4月から都道府県化になるので、国の動向を注視しながら対応を考えたい。



総務産業建設常任委員会

◆条例の制定及び一部改正5件を審査し、いずれも全員一致で可決すべきものと決定。その後、請願1件を審査し、全員一致で不採択すべきと決定。

○若狭町梅産地人材育成基金条例の制定について

・若狭町の特産である梅の産地を守るために必要な人材育成に係る経費の財源を積み立てるもの。

主な質疑事項

問 基金がないと進めない。新年度で予算化して寄付がきたら上乘せしていくような考えは。

答 当然、町から基金を積み立てようと考えている。生産者が出されたお金が2,300万円程ある。このお金を積みませてほしいと今後、相談する。

○若狭町水防協議会条例の一部改正について

・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図る関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、若狭町水防協議会条例の一部を改正するもの。

○若狭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正

○若狭町国民健康保険条例の一部改正について

・国民健康保険法の一部を改正する法律の施行および出産一時金等の見直しに伴う関係法令の改正に伴い、若狭町国民健康保険条例の一部を改正するためのもの。

主な質疑事項

問 出産育児一時金の総額はいくらになるのか。

答 出産費用として40万4千円と産科医療保障制度の掛け金1万6千円を合わせた42万円です。

○若狭町国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

・上中病院事業会計補正予算に計上したエレベーター施設工事の施行に伴い病床数が4床減となるので、条例を一部改正するもの。

○子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願

・子ども医療費の支給方法について、償還払い制度から窓口無料化に変更することへの請願。

主な意見

・窓口無料化になれば、親切な町と言う事で人口減少が進んでいる現在、若者定住にもプラスになると思う。
・窓口無料化により、事務が複雑ならなければよいと思う。

予算決算常任委員会

についで

○若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

・平成26年8月7日に出された人事院の勧告にかんがみ、条例の一部を改正するもの。

○若狭町手数料徴収条例の一部改正について

・鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

主な質疑事項

問 狩猟免許を取得すると会費、手数料や負担する額が大きく掛かる。町で補助がでないか。

答 費用が掛かるのは事実である。予算的な部分もある。今後、研究する。

○原発再稼働の地元同意の範囲を30km圏自治体とすること及び避難計画の実効性を確保することを求め政府に意見書を提出していただく

・全員、原案不採択と決定。

教育厚生常任委員会

◆条例の制定など議案8件、請願1件を慎重に審査した結果、議案は全て全員の賛成をもって可決、請願は全員の一致で採択すべ

きと決定。

○若狭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るため、関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例を制定するもの。(これより5件は、同じ理由によるもの)

主な質疑事項

問 これにより、福祉課の業務量は増えることになるのか。

答 業務量が変わることとは無い。

○若狭町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について

主な質疑事項

問 住民の方が相談に行く場合の、解りやすい若狭町独自のパンフレットを作ればよいと思うが、どうか。

答 検討する。

○若狭町社会教育委員設置条例の一部改正について

主な質疑事項

問 社会教育委員メンバーを、いろいろな方面のリーダー的な方を教育委員会で選ぶというように、選び方を変えていった方

12月定例会 議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。
○賛成 ×反対

議員名	採決月日	渡辺英朗	島津秀樹	辻岡正和	坂本 豊	今井富雄	原田進男	北原武道	武田敏孝	清水利一	藤本 勲	大塚季由	小堀信昭	小林和弘	松本孝雄	福谷 洋
議案等名																
若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	12/22	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
原発再稼働の地元同意の範囲を30km圏自治体とすること及び避難計画の実効性を確保することを求め政府に意見書を提出してください	12/22	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—

12月5日に採決され全員賛成で可決された議案

- 専決処分の承認を求めることについて(平成26年度一般会計補正予算 (第3号))

12月22日に採決され全員賛成で可決された議案

- 若狭町梅産地人材育成基金条例の制定について
- 若狭町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
- 若狭町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について
- 若狭町水防協議会条例の一部改正について
- 若狭町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部改正について
- 若狭町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 若狭町手数料徴収条例の一部改正について
- 若狭町社会教育委員設置条例の一部改正について
- 若狭町国民健康保険条例の一部改正について
- 若狭町国民健康保険病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 若狭町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部改正について
- 若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 若狭町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
- 平成26年度若狭町一般会計補正予算(第4号)
- 平成26年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成26年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町営住宅等特別会計補正予算(第2号)
- 平成26年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計補正予算(第3号)
- 子どもの医療費助成制度の窓口無料化についての請願



視察報告

Inspection report

総務産業建設常任委員会視察研修

【目的】 原子力災害時避難先視察
【期 日】 平成26年8月20日～平成26年8月21日
【場 所】 兵庫県西脇市・加東市・小野市・丹波市
【視察箇所】 4市役所、避難先20ヶ所
【出席委員】 原田委員長、島津副委員長、坂本委員、今井委員、福谷委員、清水委員、小林委員、松本委員

内 容

福井県が定めた、原子力災害時の広域避難先(兵庫県内)の内、4市20ヶ所を視察。西脇市役所、加東市役所、丹波市役所を訪問し、小野市では防災センターを見学させていただき、それぞれの避難先を案内していただいた。



教育厚生常任委員会視察研修

平成26年10月22日・23日、教育厚生常任委員会の視察研修を行いました。

10月22日

奈良県宇陀市役所において、宇陀市立病院、健康福祉部地域包括ケア担当者により、地域医療と在宅ケアについて、意見交換し、今後お互いの情報交換をし、両地域の福祉の向上を図る話し合いができました。

宇陀市は、4か町村の合併により誕生し、人口は約36,000人です。主な内容として、在宅医療の連携拠点として地域包括ケア総合センターを作り、「健康」をまちづくりの基本とし、政策を連携しながら健康長寿のまちを作ることについて力を入れていることの説明を受け、若狭町も努力しなければならぬと感じました。

その後、同市の松山重伝建地区を視察し、熊川宿の整備の参考となる話を聞き、これからの参考とします。



10月23日

奈良県橿原市の今井町重伝建地区を視察し、担当職員より国内トップクラス規模の地区の案内を受け、補修等の考え方や、観光地と違う、生活の場としての地域づくりが進められている現状を視察しました。

東西600メートル南北310メートル約17.4ヘクタールに、伝統的建造物が約6割残り、我が国でも有数の歴史的市街地を形成しています。中世末期に一向宗の寺内町として成立し、江戸時代は商業都市として発展し、現在歴史的な町並みを生かしたまちづくりがおこなわれています。



小堀 信昭 議員

小堀 町は総合戦略の策定にどう取り組むのか。
町長 地域の特性を踏まえ国から示される長期ビジョン、総合戦略を十分注視し対応していく。
小堀 人口減少が進む、若い世代への子育て策は。
町長 町内の子どもの健やかな子育てを支援する環境づくり、安心して働き、出産、子育てができる切れ目のない事業を推進し取り組んでいきたい。

地方創生について伺う



一般質問

(文責：質問者本人)

清水 わが町は共同活動に取り組んでいる団体は41組織あるが、長寿命化(向上活動)の取り組みは行われていない。来年度から取り組むべき。
町長 老朽施設の改修や経費の抑制、維持労力の低減等の効果から、来年度より取り組む所存。
清水 活動組織面で、広域化を進め、事務等の省力化を図るために、地域単位から土地改良区単位の組織編成を推進すべき。
町長 現在再編を検討中で、組織の広域化を視野に体系としては既存の



清水 利一 議員

町長 農業施設造成事業で、長寿命化(向上活動)も広域的活動組織編成で来年度から取り組むべき
 平成27年度より、施設の長寿命化に取り組む所存で、活動組織編成の体系も広域化で検討中

組織を残しつつ、一本化を目標に調査する所存。
清水 県営造成施設管理体整備促進事業の今後の見通しは。
建設課長 過去5ヶ年間の継続事業であったが、平成29年度まで延長が認められた。

農地中間管理機構の窓口としての取り扱い等について

清水 現在、農地の出し手の面積や人数状況は。
産業課長 89戸の54・7haであり、又、来年度8集落の195ha予定で高齢等により経営転換・リタイヤされる方を中心に農地が出てきている。
清水 農地の借り手の追加募集に対する結果は。



▲老朽化した揚水ポンプ
(上中土地改良区・杉山第2揚水機場)

産業課長 現在追加を含め、28経営体で規模拡大を図ろうとしている。
清水 人・農地プラン登録経営体への耕作条件に合わない支援は。
産業課長 特に小区域で分散している農地はアグリサポーター制度による作業受託で割り高分の補助を推進して応援してもらおう。

地域医療・連携の現状について

辻岡 包括的地域医療体制検討委員会の経過内容と医療の連携について伺う。

町長 委員会は、保健・医療・福祉を一体的に提供できる体制の構築と上中病院の今後の在り方について検討した。上中病院は、19床の入院機能を持つ診療所にし、近くに介護必要者の入居住宅を作り、在宅介護を進める。詳しい内容については、住民説明会を行う。
 地域連携については、各医療機関の地域連携室と役場の包括支援センターにより、かかりつけ医との連携を進め、県内の医療機関をつなぐメ



辻岡 正和 議員

町長 若狭町の地域医療連携の現状と今後の取り組みは
 仮称「在宅医療・介護連携支援拠点センター」運営の準備を進めており、連携体制を充実する

琵琶湖若狭湾快速鉄道早期実現に向けて取り組みについて

辻岡 人口流出の要因で、仕事の需要が都市圏に在る事が大きな原因となっている。そこで若者の流出を防ぐために、通勤通学の利便性を高め、関西圏との交流を進める事は、嶺南地域の生き残りかけたプロジェクトとして、目標に期限をつけた行動計画を作り、それを何十年も先延ばしにせず、積極的な取り組みが是非必要と言えるが、若狭町の考えを伺う。

若狭と湖西を結ぶ
地域プロジェクト

L = 19.8km



町長 嶺南鉄道整備促進基金は、平成26年度末には75億8千万円となり、「期成同盟会」や「鉄道建設早期実現若狭住民の会」において積極的な活動をしており、福井県への強い要望と、国の政策である「地方創生」の流れに乗り、早期実現に取り組む。

道の駅「三方五湖」への地元漁業者の出店要望は

町長 関係者と協議を重ねている

上水道を使った、小水力発電の普及を

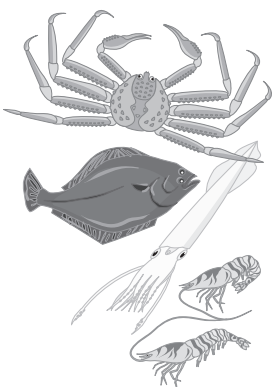
小堀 上中地区新浄水場で採用できないか。
水道課長 高低差がなく十分な発電量を確保できない。町内で可能性のあるのは三方地区簡易水道松尾山浄水場で実現に向けて考えていく。

小堀 河内川ダムの発電計画は。
町長 県によると小水力発電に関わる部分は既に詳細設計に組み入れて来春春頃には事業者への申請も行う予定。

道の駅「三方五湖」の内容について伺う

小堀 出店者の基準は。
観光交流課長 指定管理者により、準備委員会を立ち上げ販売品目、納入業者の選定方法を検討している。

小堀 地元漁業者の出店は。
観光交流課長 当地の売りの一つである魚介類の販売については道の駅の利用方法を探る必要があることから、関係者と協議を重ねている。



『地域の元氣創造プラン』に対する考えは

町長 「プラン」による支援を最大限活用できるように考えている

北原 「地方創生」あるいは「ローカルアベノミクス」の一環である『地域の元氣創造プラン』について所感を伺う。

町長 「プラン」は、自治体を核として、雇用を促進し、地域を活性化する道筋を示している。地域密着型企業の育成や生産性の高い新規企業の創業を図り、集落ネットワーク圏、定住自立圏、地方中核拠点都市圏を形成して、地方の人口流出を食い止めることを提案している。



北原 武道 議員

本町では、企業誘致も順調であり、既存企業も元氣である。若者の定住対策としては、住宅や子育ての支援をしている。小学校区単位の「地域づくり協議会」は、集落の広域的な連携や人口減少社会の課題解決という点から重要である。また今年4月に嶺南地域広域行政推進委員会を立ち上げ、諸分野の広域的な連携を具体的に検討している。その広域事務を包括管理するための組織として広域連合などを検討している。「プラン」に示されている定住自立圏の導入も研究している。「プラン」による支援を最大限活用できるよう考えている。

北原「地域の元氣創造プラン」は、地域をま

んべんなく元氣にするプランにはなっていない。地方中核拠点都市として福井市を、定住自立圏の中心市として敦賀市を選択的に発展させる方向である。さらに集落ネットワーク圏と称して、過疎地域では「基幹集落」をつくらとされている。

選ばれなかった市町、集落はますます過疎化する危険がある。行政は効率化されるだろうが、人口分布はますます「まだら模様」になる。

このような地方政策に安易に乗るのではなく、慎重に対処し、「いま住んでいる人が、望んでいるなら、いま住んでいるところに住み続けられる」ようにすることが大切である。



議会の動き



10月18日 第27回美浜町民レガッタ大会



10月25日 若狭地方町村議会議員交歓球技大会



10月27日 市町議会議員合同研修会



10月30日 三方五湖スマートインター特別委員会視察研修



11月19日 議会改革特別委員会研修



11月22日 拉致・特定失踪者問題の早期解決を願う福井県集会

編集後記

皆様にはお揃いで新春をお迎えのことと存じます。

本年の干支は未(羊)です、羊は同じ行動を取って大勢で暮らすことから、群れの漢字は羊から作られたそうです。

また、群れなす羊はいつでも平和に暮らし、家族の安泰を意味しているとも言われています。

この羊にあやかり、町民の皆様と議会が丸となって大きな群れをなし、数々の事業に当たっていただけるような若狭町を目指したいと願っています。
(藤本 勲)

